



令 和 5 年 度

9 月 補 正 予 算





令和5年9月14日



補正予算のポイント

1 予算編成の考え方

魅力あふれる京都の「今」と「未来」を見据えるとともに、 喫緊の社会課題等に、時宜を逸することなく的確に対応する予算を編成

ポイント

- ➤ 過去負債を着実に返済! 将来世代への負担を軽減
- ➤ 今なお、急激な物価高騰等にお困りの市民・事業者の皆様への更なる支援
- □ コロナ禍からの回復等を踏まえた、

 観光課題の対策強化、中小企業等の更なる成長支援、担い手の確保・定着支援 など

2 補正予算の規模

62億円 (補正前:1兆8,081億円 ⇒ 補正後:1兆8,143億円)

京都市独自の財源を53億円投入!

具体的な実施内容(主なもの)

1 過去負債の返済 35億円

- ▶ 赤字補填のため、これまで例外的な手法で取り崩してきた基金(公債償還基金)へ 返済し、将来世代への負担を軽減!
- ▶ 市民の皆様の御理解・御協力の下、改革と都市の成長戦略を進め、高齢化がピークを迎える「令和20年度」を目途に、できる限り早期に返済!
- <参考>過去負債の残額(今後、返済が必要な額)

過去負債35億円の返済により、<u>残額は505億円から470億円へ</u>
⇒ 最大642億円(令和2年度末)あった過去負債を着実に返済



2 急激な物価高騰への対応

26.1億円

(1) 福祉施設・子育て施設等における運営費に対する支援

17.8億円 【年間33億円を計上】

急騰する物価高騰分の運営費の臨時支援を、10月以降も引き続き継続

<参考>延べ対象施設数

- ・ 特別養護老人ホームなど高齢者・障害者施設 約8,500施設
- ・ 保育園、幼稚園など子育て支援施設 約1,100施設



(2) 福祉・子育て施設、学校給食の食材費高騰に対する支援

8.3億円 【年間13億円を計上】

食材費の高騰を踏まえ、子育て世帯や施設利用者の負担増加を 抑制するため、10月以降も引き続き、臨時支援を継続

➤ 例えば、小学校給食の場合… 児童1人当たり年間4千円程度の保護者負担を軽減



3 コロナ禍からの回復等を踏まえた、観光課題の対策強化 中小企業等の更なる成長支援等 7.1億円【事業費9.6億円規模】

- (1) 観光課題の対策強化 1.4億円
 - ①京都観光の回復に伴う観光課題対策の強化 3,000万円

秋の観光シーズン以降、観光客の一層の増加を見据え、観光課題の対策をより強化! 市民生活と調和した持続可能な観光の実現を目指す

- ➤ 補正予算の内容
 - ・「京都観光モラル」を遵守した行動の促進強化
 - ・ マナー啓発
 - ・ 手ぶら観光の推進の強化 など



②観光事業者の担い手確保等支援(宿泊・飲食)

5. 800万円【事業費6.700万円規模】

秋の観光シーズン以降、観光客の一層の増加を見据え、早期に対策を実施

- ◆ 宿泊・飲食業界の魅力発信(WEBサイト等での情報発信)
- ◆ 宿泊・飲食事業者が行う担い手確保の取組への支援 ➤ 補助率: 4 / 5
- ◆ 宿泊・飲食業界の従業員を対象にした定着支援(スキルアップ研修など)

③公共交通の担い手確保支援(バス・タクシー)

5, 000万円【事業費6,000万円規模】

担い手不足の深刻化により、影響が生じている生活交通(バス・タクシー)を 維持・確保していくため、公共交通事業者等への支援を実施

- ◆ 事業者、業界団体が行う担い手確保の取組に対する支援 ➤ 補助率:4 / 5 (取組例)魅力向上の P R 動画作成、人材確保セミナーの開催など
- ◆ 広報物の製作、広告掲載など

TAXI

(2) 中小企業等の担い手確保・定着支援 1.6億円(一部再掲含む)

新型コロナ 5 類移行に伴い、社会経済活動の正常化が進展する中、喫緊の社会 課題である中小企業等の担い手不足が深刻化、対策が急務!

時宜を逸することなく、重点的に支援

①中小企業担い手確保・定着支援の更なる推進

4, 600万円【事業費5,400万円規模】

- ◆インターンシップを実施する中小企業等への支援を充実し、企業の魅力を知る機会を創出
 - ➤ 補助率: 4 / 5
- ◆留学生や中途求職者の採用につながる取組を強化
 - ➤ セミナー、交流会の実施など

【以下、再掲】

- ②観光事業者の担い手確保等支援(宿泊・飲食)5,800万円
- ③公共交通の担い手確保支援(バス・タクシー) 5,00万円



(3) 商店街等消費活性化支援 1.6億円【事業費2億円規模】

商店街等が独自に実施するプレミアム付商品券の発行や 歳末大売出し等の取組を支援し、生活者・事業者双方の支援につなげる

➤ 補助率: 4 / 5



(4) コロナ禍からの回復を契機とした「中小企業等の更なる成長支援」

3. 7億円

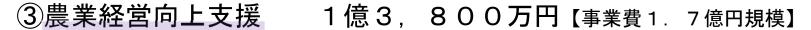
コロナ5類移行による社会経済活動の正常化が進展する中、中小企業等が行う 生産力向上、高付加価値等の取組を支援

- ①ものづくり中小企業等販路開拓支援 8,000万円 [事業費 1.3億円規模]
 - ◆中小企業等が行う国内外の販路拡大に資する取組(展示会出展)を支援
 ★ 補助率: 1 / 2
 - ◆大阪・関西万博を見据えた海外向けPRの強化(広報コンテンツ製作)

②伝統産業生産力向上支援 1.5億円規模】

インバウンド需要の回復を踏まえ、供給体制の確立や新たな事業展開 を行う伝統産業事業者に対し、設備の新規導入や改修等を支援

➤ 補助率: 2/3



経営向上に意欲的に取り組む農業者に対して、生産増・コスト低減等に資する機器・設備の導入を支援

➤ 対 象:認定農業者、認定新規就農者等

➤ 補助率: 4 / 5

④中小事業者の高効率機器導入促進 5,000万円 [事業費1億円規模]

省エネ改修を通じて脱炭素化を推進する中小事業者の高効率機器導入を支援

➤ 補助率: 1/2



4 その他の補正予算等

① 京都・文化ファンドレイジング戦略の推進 2. 4億円

企業からの寄付金(企業版ふるさと納税)を活用し、 文化芸術関係者が行う活動に対し、更なる支援を実施



② 既存住宅の流通促進 700万円

安心して既存住宅を手に入れられるよう、住宅の状態や性能に係る情報をまとめ、提示し、 不動産取引や金融機関の住宅ローン審査などで適正に評価される仕組みの構築を目指す

- ➤ 洛西"SAIKO"プロジェクトの一環として、洛西ニュータウンでモデル実施
- < 考 > 洛西"SAIKO"プロジェクトとは?

洛西ニュータウンの再生や洛西地域全体の活性化に関する方策を 全庁一丸となって推進するプロジェクト



③ 市立学校の教員確保対策 4,500万円

子どもたちに影響がないよう、教員の欠員に対しては、教務主任等が担任や授業を 代替している状況。教務主任等の負担軽減に向け、教員確保対策を緊急的に実施

<実施内容>

- ▶ 教員確保に向けた情報発信の強化
- ➤ 正規教員の採用前倒し【当初予算で対応】
- ▶ 校務支援員の追加配置(欠員により負担が増している学校への緊急対策)

<参考>教員の欠員理由

- ・ 育児制度利用者の増加(小学校での育児短時間勤務者割合、指定都市1位)
- ・ 講師の担い手不足 など

④ 台風第7号被害への対応 約2億円【当初予算で対応】

道路の路肩崩壊(国道477号など)や道路への土砂流出(京都広河原美山線など)などへの被害に迅速に対応

